

令和5年度荒川区議会定例会・2月会議一般質問順番表

日付	順番	氏名	時間	会派名	ページ
2月15日 (木)	1	菅谷 元昭	60分	自民党	1
	2	大月 健弘	25分	ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属）	1
	3	山口 幸一郎	25分	公明党	2
	休 憩（60分）				
	4	横山 幸次	25分	共産党	2
	5	久家 しげる	25分	立憲民主党	2
	6	小坂 英二	50分	日本保守党	2
	7	山田 晴美	25分	維新・子育ての会	4
2月20日 (火)	8	明戸 真弓美	60分	自民党	4
	9	花澤 昭信	25分	ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属）	4
	10	松田 智子	25分	公明党	4
	休 憩（60分）				
	11	北村 綾子	25分	共産党	5
	12	竹内 明浩	25分	ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属）	5
	13	相馬 ゆうこ	25分	共産党	5

**令和5年度荒川区議会定例会・2月会議
一般質問通告一覧**

質問通告者	質問項目(要旨)
<p>菅谷 元昭 60分 自民党</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和6年度予算案について <ol style="list-style-type: none"> (1) 予算編成の考え方について 2 適正な施設の運営について <ol style="list-style-type: none"> (1) 事業者変更時の利用者や従業員に対するフォロー体制について 3 能登半島地震を踏まえた災害対策について <ol style="list-style-type: none"> (1) 能登半島地震を踏まえた地域防災計画の見直しについて (2) 旧耐震や危険老朽空き家対策等の見直しについて (3) 災害廃棄物及び支援物資の受援体制と配付方法について (4) 避難所におけるプライバシーの確保及び感染症等への対策について 4 南千住汐入地域の賑わいの創出について <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後のララテラスの在り方について <ol style="list-style-type: none"> ① 現在の検討状況とアミューズメント施設の誘致について (2) 南千住浄水場跡地(天王公園)の整備について <ol style="list-style-type: none"> ① 地元の団体等が球技をできるスペースの確保について (3) グリーンハイム等、特別養護老人ホームの大規模改修について 5 DXの推進に伴うリスクヘッジについて <ol style="list-style-type: none"> (1) システムのブラックボックス化に伴い想定されるリスクやその対応について
<p>大月 健弘 25分 ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「人口ビジョン2100」「異次元少子化対策」提言に伴う少子化子育てにおける荒川区政について <p>政府の「異次元少子化対策」や「人口ビジョン2100」の提言より、日本人の意識改革、共同養育社会の構築が求められています。具体的な対策として、若年層の所得増加や社会構造の変革への支援が挙げられます。荒川区では既にファミリーサポート制度があります。この制度をうまく子育て世帯・年長者世代に活かせば共同養育社会に貢献できると考え、現状の課題と広げるにあたり今後の課題について問います。</p> 2 少額投資非課税制度(新NISA)における貯金から投資への教育対応 <p>「貯金から投資へ」と政府のかけ声のもと、2024年1月より少額投資非課税制度(新NISA)が始まりました。高校家庭科や公共で金融教育がスタートしたものの、親世代は教育を受けていないので、投資とギャンブルなどが混乱する可能性もあります。そこで小中学校のマナーリテラシー教育について問います。</p> 3 DX化の進捗について <p>行政デジタル化につきましては、国主導の下に業務システムの標準化が喫緊の課題になっております。現在のシステムを保守運用しながら、このDX化への対応は非常に難易度が高いと理解しております。</p> <p>今後のシステム開発の概要・具体的な計画・予算・体制などについて問います。</p>

質問通告者	質問項目(要旨)
山口 幸一郎 25分 公明党	1 防災・減災の取り組みについて (1) 不燃化特区地域に限らず区全域での延焼防止対策の強化 (2) 災害関連死への予防策強化 ① スフィア基準に基づいた避難所運営 ② ホテル等への避難所協定の拡充 (3) 災害時の受援体制 (4) 共助のための町会防災倉庫の拡充 (5) 自助のための家庭内備蓄とマンション防災 2 近隣区合同による公営火葬場の新規建設について
横山 幸次 25分 共産党	1 荒川区における大地震への備えについて (1) 区として不燃化特区・木造密集地域の住宅耐震化率を明らかにするとともに、戸別訪問などで耐震改修に踏み切れない原因など把握し、補助制度の改善も行い住宅耐震化を推進すること。 (2) 住宅耐震化の低コスト工法導入を検討し区内建設事業者と連携して推進すること。 (3) 感震ブレーカー100%設置とともに、家具転倒落下防止補助について寝室・居間をカバーできるだけの補助金額の抜本的な拡充を行うこと。 (4) 区内住宅困窮者・住宅確保要配慮者の実態について区の認識を問う。 (5) 区として住宅困窮者実態調査を実施し「住まいは人権」の立場で支援策を確立するとともに、専任体制も確立し施策を推進すること。 2 暮らし最優先の自治体本来の役割発揮について (1) 新規の都補助などで軽減された部分は、「剰余金」としてただ積み立てるのではなく子ども関連などの施策充実に振り向けること。 (2) 安定的かつ質の高い公共サービスを担うケア労働、公共事業の品質確保のためにも「普通に働けば普通に暮らせる賃金」を保障する公契約条例の制定を行うこと。 3 福祉的な視点からの移手段について、コミュニティバス、デマンド交通など含めたこの間の検討内容を明らかにすること。またそうした検討結果も踏まえ福祉的な視点も入れた地域公共交通政策を策定すること。
久家 しげる 25分 立憲民主党	1 防災意識の向上と備えについて 2 モノづくり産業の支援について 3 公共施設の利便性の向上について
小坂 英二 50分 日本保守党	1 区民を守る為に大局的視野から (1) 大地震の際のエレベーターの閉じ込めに対応した自主避難訓練実施を区が先導していくべき。 (2) 区窓口での個人番号カード、在留カードのICチップ内容確認を必須にすべき。大量の偽造カード氾濫の中で券面のみ確認は無意味かつ無責任である。 (3) 外国人学校等保護者補助金の廃絶を！朝鮮学校幼稚班の実質無償化(国策)への加担も廃止を。血塗られた独裁国を支援し、拉致問題解決の

質問通告者	質問項目(要旨)
	<p>妨害となっていることを認識しているのか？</p> <p>(4) 区施設の来庁者や職員を守る危機管理徹底を。不審者対応の体制や装備の整備を。</p> <p>(5) 国保や税金の外国人滞納対策を徹底すると同時に、出入国在留管理庁に情報提供徹底を。</p> <p>(6) 高齢者運転による爆走死亡事故が続く中、更なる免許証返納促進施策を。</p> <p>2 様々な歪みの是正を</p> <p>(1) プラスチックごみは燃やして熱発電に活用する現在の方式を続けるべき。莫大なコストと手間とエネルギーをかけての「製品へのリサイクル」は本末転倒。</p> <p>(2) 建築物の解体現場の法令遵守が徹底されておらず、区によるチェック厳格化を。</p> <p>(3) 教師研修の異常を糾すべき。定例で2年毎に行う人権教育担当教師への部落解放同盟関連の講師による研修は中止を！真に必要な人権研修の実施を。</p> <p>(4) 緑被率向上という数字に拘らず公園における人工芝の活用を。遊具等の下に木材チップ敷き詰め実施を。</p> <p>(5) 各種補助金、給付金における外国人への対応について考える際に不可欠な各種統計を属性別に把握を。</p> <p>(6) 何でも個性に位置付けず、男女をの特質や傾向を踏まえた教育、施策を。</p> <p>(7) 指定管理者選定や更新の決定・議決時期について、不適切と議会が判断した際にも再選定や準備ができる流れに是正を。</p> <p>(8) 児童虐待の世代間循環の断ち切りを。児童虐待案件のカウンセリングを加害者側も含め全件実施を。</p> <p>(9) 老朽化したトイレの洋式化だけで男女ごちゃまぜトイレを固定化してはならない。まやかしの整備は止め、公園敷地からトイレを切り離し、面積率の規制から外し男・女・バリアフリートイレと3区分の必要な整備を。</p> <p>(10) 「性自認に基づく部活に参加推進」との政府や教育委員会の姿勢は是正すべき。</p> <p>(11) 「荒川区性自認及び性的指向に関する職員対応ガイドライン」をLGBT法連合会が監修した経緯の確認と再発防止策について。</p> <p>(12) LGBT法により小学生から大人まで、みっちり「啓発」の名の下に「男女の標準の形」の相対化認識を強要され、混乱と危険な社会へ進むことを基礎的自治体として阻止すべき。</p> <p>(13) 性犯罪被害、虐待、特殊な育ち、思春期の揺れなどから性自認に混乱、錯誤、揺れ、妄想が生じる例が有り、心理カウンセリング等による寄り添いを前提とした平穩化の受け皿は絶対に必要。LGBTにつき偏</p>

質問通告者	質問項目(要旨)
	<p>向した教材や偏った指導があれば誤った誘導や固定化がされかねず、自治体として危機感を持ち向き合うべき。 以上の指摘について認識と対策を問う。</p>
<p>山田 晴美 25分 維新・子育ての会</p>	<p>1 教育現場の働き方改革について 2 保育園における「運動あそび」の取組について</p>
<p>明戸 真弓美 60分 自民党</p>	<p>1 荒川施政100周年に向けて 2 20代から働き盛り世代のボランティア活動への参加について (1) 夜間・土日へのイベント・ボランティア等の展開と周知 (2) 若者(20歳～)向けのボランティア情報の発信 3 子どもたちの笑顔のために (1) 5歳児健診の開始について (2) たんぽぽセンターの今後 (3) 不登校児童生徒・フリースクール支援について 4 震災対策 (1) 高齢者・障がい者の避難について (2) 災害時の医療体制について 5 これからのまちのデザイン (1) 俳句のまち宣言から10年 (2) 多世代交流を進めるためのデザイン (3) あらかわ遊園について ① 来場者を増やすために ② 新しい公園(D地区) ③ 子どもプールの跡地利用(B地区) (4) 隅田川の活用 ① 瑞光橋公園の親水整備について ② 災害時の受援計画へ</p>
<p>花澤 昭信 25分 ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属)</p>	<p>1 NPO活動等への支援施策について 2 人事考課制度について</p>
<p>松田 智子 25分 公明党</p>	<p>1 福祉・介護対策について (1) 「BCP」推進策 ① 介護・障害福祉施設の「BCP」策定を100%実施 ② 「荒川モデルBCP」シュミレーション訓練の実施 (2) 主任ケアマネジャーへの特別手当 2 環境対策について</p>

質問通告者	質問項目(要旨)
	(1) 「荒川区地球温暖化対策実行計画」推進策 ① 家庭用・太陽光発電システムの推進 ② 電気自動車の蓄電システム「V2H」の設置促進 (2) SDGsアプリの活用
北村 綾子 25分 共産党	1 物価高騰から区内中小事業者を守るために (1) 消費税の減税を荒川区として国に求めること (2) 光熱費・ガソリン代補助を行うこと (3) 区内共通お買物券の拡充について (4) 相談事業や設備投資補助、あっせん融資制度など事業者支援の周知徹底と手続の簡略化について 2 区で行う健康診査について (1) 受診率アップ、医療機関の受け入れ分散等のため実施期間を検討すること (2) 土日の健診を受け入れる医療機関に対し支援をして推進すること 3 リニューアル工事に伴うあらかわ遊園スポーツハウスの休館で、高齢者フレイル予防、子どもたちの成長、区民健康増進を途切れさせないために (1) 地域説明会だけでなく利用者の意見を直接伺う機会を設けること (2) 休館期間、スポーツ教室の休止は最小限にとどめること (3) 時限的な利用者負担軽減を含め民間スポーツ施設と連携を図ること (4) フロア・スタジオ教室は近隣ふれあい館等に代替会場を設けるなど、継続の可能性を探ること
竹内 明浩 25分 ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属)	1 大規模災害後の重要な復興事業について (1) 行政の大きな責務であり復興に役立つ地籍調査について 2 単身高齢者等の総合相談支援事業等について (1) 元気なうちから将来の準備ができるよう、終活支援等の総合相談窓口の設置について 3 荒川区の自転車施策について
相馬 ゆうこ 25分 共産党	1 住み続けられるまちづくりを、区民主体で (1) 人口の一極集中を加速させる大規模マンション建設に頼らず、どんな人も安心して住み続けることができる定住化の促進を区の根本にすること (2) 高齢者が住み続けるための施設や単身高齢者のための住宅をふやす手立てを講じること (3) 区民の声を広く聴くことを区の方針に定め、パブリックコメントや公聴会などを最大限実施すること (4) 若手職員や現場の職員主体で、施策を立案・推進できる体制をつくること 2 さくらバス減便への支援を (1) 利用者への実態調査と、全区的なアンケートや意向調査を行うこと

質問通告者	質問項目（要旨）
	<p>(2) 当面、路線維持のために区が運行補助を行うこと</p> <p>3 ミソジニーから抜け出すための包括的性教育を</p> <p>(1) 日本の現状から、包括的性教育の必要性について区の見解を問う</p> <p>(2) 指定管理をふくめた公的施設のトイレに、生理用品を設置すること</p> <p>(3) 区職員、公的施設の職員へ「生理研修」「更年期研修」を行うこと</p> <p>(4) 「生理痛がひどい時は休んでもいい」という雰囲気づくりを促進すること</p> <p>(5) 痴漢被害防止のための第三者介入について、ひろく学ぶ機会を</p>